指導事項配列表 (1年) NO.1

							[9	コ識及で	「技能 〕					
				(1)言葉の特徴や	使い方に	関する	耳	(2)情 扱いブ 関する	うに	(3) 我が国の言語文化に関する事項			:I=
	指導	尊事項配列表 (1年①)	指導事項等	ア 音声の働きや仕組みについて、理解を深めること。	900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 (以下「学年別漢字配当表」という。) に示されている漢字にがえ、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度がら400字程度がら400字程度がら (以下「学年別漢字配当表」という。) に示されている漢字に	で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章のウ 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の	する語句の役割について理解を深めること。 エー単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続	こと。 オ 比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使	こと。 S結果、意見と根拠など情報と情報との関係につい	との	と。 を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむこを音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむこと。	イ 古典には様々な種類の作品があることを知ること。	ウ 共通語と方言の果たす役割について理解すること。	とに役立つことを理解すること。 オ 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりするこ
月		教材	時数		り程子ョち度に表	のの 中辞	接続	便 う	て 理	仕 方	ご文			るこ
		朝のリレー	1	0										
4	言葉に出会う	野原はうたう	1	0										
-	ために	声を届ける/書き留める/ 言葉を調べる/続けてみよう	4	0						0				0
		シンシュン	4			0								
		[聞く] 情報を的確に聞き取る	1							0				
		季節のしおり 春	-			•								
5	1 学びを ひらく	情報整理のレッスン 比較・分類	1							0				
	0 3 \	情報を整理して書こう わかりやすく説明する	4							0				
		漢字1 漢字の組み立てと部首	1		0									
		漢字に親しもう1	1		0									
		ダイコンは大きな根?	2							0				
		ちょっと立ち止まって	3						0				ļ	
	9 2 £ 1 1 ×	思考のレッスン1 意見と根拠	1	ļ					0					
6	2 新しい 視点で	話の構成を工夫しよう 好きなことをスピーチで紹介する	4	0										
		漢字に親しもう2	1		0									
		文法への扉1 言葉のまとまりを考えよう →文法1 言葉の単位 (P238-241)	2				0							
	情報社会を 生きる	情報を集めよう/情報を読み取ろう/ 情報を引用しよう	3							0				
		詩の世界	3			0		0						
	o ==#:-	[書く] 詩を作ろう 	[1]			-		0						
	3 言葉に 立ち止まる	言葉1 指示する語句と接続する語句	2	<u> </u>			0	9		<u> </u>				<u> </u>
		言葉を集めよう		<u> </u>		6	9						ļ	<u> </u>
		もっと「伝わる」表現を目ざして	1			0								
7		読書を楽しむ	1	<u> </u>									<u> </u>	0
	読書生活を	本の中の中子生 あと少し、もう少し/西の魔女が死んだ/ ブラインドの向こうに見える光												0
	豊かに	読書案内 本の世界を広げよう	1		<u> </u>					<u>i</u>			<u> </u>	0
		読書コラム 本との出会い		l										0
		季節のしおり 夏	_			•								<u> </u>

◎その教材が主たる学習場面であり、確実に身につけることが望まれる。★対応する言語活動例。・学習経験として蓄積させる。

※時数について……「読むこと」の教材内に「書くこと」の活動がある場合は、総時数のうち、「書くこと」の時数を[]で示した。

	は、総時数のうら、「香くこと」の時数を [」で示した。 [思考力、判断力、表現力等] A 話すこと・聞くこと B 書くこと C 読むこと																						
	Α	話すこ	と・聞	くこと	I					B 書	くこと	ı						C 読	むこと	1			
	(1)	指導事	項		(2)言 活動	前例		(1)	指導事	耳		(2)	言語活	動例		(1)	指導事	項		(2)	言語活	動例	
材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。ア 目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた	を考えること。 を考えること。 を考えること。 を考えること。	るように表現を工夫すること。 相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わ	と。 と、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめるこれ、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉	考えをまとめること。 オ 話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて	問したり意見などを述べたりする活動。ア 紹介や報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質	イ 互いの考えを伝えるなどして、少人数で話し合う活動。	材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。ア 目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた	して文章の構成や展開を考えること。 して文章の構成や展開を考えること。	に工夫すること。 ウ 根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるよう	を確かめて、文章を整えること。 よい 読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方など	え、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと。オー根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏ま	たりするなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。アー本や資料から文章や図表などを引用して説明したり記録し	して書く活動。	たことを書く活動。	どについて叙述を基に捉え、要旨を把握すること。アー文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係なアー文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係な	て、描写を基に捉えること。 て、描写を基に捉えること。	面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈すること。 り 目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場	考えること。 考えること。	ものにすること。 ものにすること。	報告したり文章にまとめたりする活動。 ア 説明や記録などの文章を読み、理解したことや考えたことを	ったりする活動。	どを報告したり資料にまとめたりする活動。 ウ 学校図書館などを利用し、多様な情報を得て、考えたことな	その他
							0																
0			0		*											0					*		
							0					*											
															0					*			
															0					*			
	0				*																		
							0					*					0					*	
									0					*	_			0			*		
															0					*			
																			0			*	

指導事項配列表 (1年) NO.2

							[9	コ識及で	「技能 〕					
				(1)言葉の特徴や	使い方に	関する	耳	(2)情 扱い方 関する	うに	(3) 我が国の言語文化に 関する事項			
	指	尊事項配列表(1年②)	指導事項等	音声の働きや仕組みについて、理解を深めること。	900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うこと。	で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章のウ 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の	する語句の役割について理解を深めること。 エー単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続	こと。 オ 比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使	解すること。 ア 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について	や出典の示し方について理解を深め、それらを使うこと。イ 比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方	と。 を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむで音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢と	イ 古典には様々な種類の作品があることを知ること。	ウ 共通語と方言の果たす役割について理解すること。	とに役立つことを理解すること。 オ 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりするこ
月		教材	時数		ち度に表	中辞	続	う	理	方	こ文			٢
9		大人になれなかった弟たちに 星の花が降るころに 聞き上手になろう 質問で話を引き出す	4 5 1	0				0						0
	4 心の動き	項目を立てて書こう 案内文を書く	2							0				
		[推敲] 読み手の立場に立つ 言葉2 方言と共通語	1 2			0							0	
10		漢字2 漢字の音訓 「言葉」をもつ鳥,シジュウカラ 思考のレッスン2 原因と結果 根拠を示して説明しよう 資料を引用してレポートを書く	1 4 1 5		©				© ©	0				
	5 筋道を 立てて	漢字に親しもう3 [話し合い] 話し合いの展開を捉える 話題や展開を捉えて話し合おう	1 1 4		0				0					
1.		グループ・ディスカッションをする 音読を楽しもう 大阿蘇 季節のしおり 秋	1 -			© •								
11	6 いにしえの 心にふれる	音読を楽しもう いろは歌 古典の世界 蓬莱の玉の枝――「竹取物語」から	1 4								© ©	0		
		今に生きる言葉 [書く] 故事成語を使って体験文を書こう 「不便」の価値を見つめ直す [書く] 根拠を明確にして、意見をまとめよう	2 [1] 4 [1]						0	0	©			
	7 価値を 見いだす	助言を自分の文章に生かそう 作品の書評を書く 漢字に親しもう4	2		0									0
12		文法への扉2 言葉の関係を考えよう →文法2 文の組み立て (P242-246) 考える人になろう	2				0							
	読書に親しむ	考える人になろう 君たちはどう生きるか/たのしい制約 読書案内 本の世界を広げよう												0
		季節のしおり 冬	-			•								

◎その教材が主たる学習場面であり、確実に身につけることが望まれる。★対応する言語活動例。・学習経験として蓄積させる。

※時数について……「読むこと」の教材内に「書くこと」の活動がある場合は、総時数のうち、「書くこと」の時数を[]で示した。

	は、総時数のうち、「書くこと」の時数を [] で示した。														,,,,,,	·), ·		-] *>*	190.6	[] 7	テした	-0	
	Α	話する	と・聞	くこと														C 読	むこと				
	(1)	指導事	項		(2)言 活動	言語 协例		(1)	指導	耳		(2)	言語活	動例		(1)	指導事	項		(2)	言語活	動例	
材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。アー目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた	を考えること。	るように表現を工夫すること。 ・相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わ	と。 と、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめるこれ、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉	考えをまとめること。 考えをまとめること。	問したり意見などを述べたりする活動。ア 紹介や報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質	イ 互いの考えを伝えるなどして、少人数で話し合う活動。	材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。アー目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた	して文章の構成や展開を考えること。 して文章の構成や展開を考えること。	に工夫すること。 に工夫すること。	を確かめて、文章を整えること。 エー読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方など	え、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと。オー根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏ま	たりするなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。アー本や資料から文章や図表などを引用して説明したり記録し	して書く活動。	たことを書く活動。	どについて叙述を基に捉え、要旨を把握すること。アー文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係な	て、描写を基に捉えること。 て、描写を基に捉えること。	面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈すること。 ウ 目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場	考えること。 ・ 考えること。	ものにすること。 ものにすること。	報告したり文章にまとめたりする活動。 ア 説明や記録などの文章を読み、理解したことや考えたことを	ったりする活動。	どを報告したり資料にまとめたりする活動。ウ 学校図書館などを利用し、多様な情報を得て、考えたことな	その他
																0					*		
			0		*												0				*		
			•				©						*		•					•			
										0			*										
																		0		*			
							•	0	0			*			•					•			
				0		* *																	
				9														0					
								0				*				0			0		*		
								9	0			*					0		0	*	*		
											0	*											
																			0			*	

指導事項配列表 (1年) NO.3

							[9	コ識及で	ゾ技能〕					
				(1)言葉の特徴や	使い方に	関する事	耳	(2)情 扱い力 関する	うに	(3)我が国 関する		語文化	:1=
	指	導事項配列表(1年③)	指導事項等	ア 音声の働きや仕組みについて、理解を深めること。	7 小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表の 小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表の漢字のうち の 1 小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表 1 小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表 1 かまから 2 から	で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章ウ 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句	する語句の役割について理解を深めること。 エ 単語の類別について理解するとともに、指示する語句と接続	こと。 こと。 こと。	解すること。 ア 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について	や出典の示し方について理解を深め、それらを使うこと。イ 比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の	と。 を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しを音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文やア	イ 古典には様々な種類の作品があることを知ること。	ウ 共通語と方言の果たす役割について理解すること。	とに役立つことを理解すること。 オ 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりするこ
月		教材	時数		の子) う程字当 ち度に表	っ 草句 のの 中辞	と接続	し使う	いて理	の仕方	んや漢文			するこ
<i></i>		少年の日の思い出	6			0								
		[書く] 別の人物の視点から文章を書き換えよう	[2]			•								
1		漢字に親しもう5 文法への扉3 単語の性質を見つけよう	1		0									
		→文法3 単語の分類 (P247-250)	2				0							
	-	随筆二編	2			0								
	8 自分を 見つめる	構成や描写を工夫して書こう 体験を基に随筆を書く	4			0								
2	76 207 0	言葉3 さまざまな表現技法	2					0						
		漢字3 漢字の成り立ち	1		0									
		漢字に親しもう6	1		0									
		一年間の学びを振り返ろう 要点をフリップにまとめ、発表する	5	0						0				
3		さくらの はなびら	1					0						
	振り返り	学習を振り返ろう	3							0			0	
巻末教材	文法・漢字	文法1 言葉の単位 文法2 文の組み立て 文法3 単語の分類					0							
材		[練習]小学校六年生で学習した漢字 小学校六年生で学習した漢字一覧			0									

⑥その教材が主たる学習場面であり、確実に身につけることが望まれる。★対応する言語活動例。・学習経験として蓄積させる。

※時数について……「読むこと」の教材内に「書くこと」の活動がある場合は、総時数のうち、「書くこと」の時数を[]で示した。

						(思考力), 判图	折力,	表現力	等]										
A 話する	こと・聞	くこと						B 書	くこと							C 読	むこと				
(1) 指導	事項					(1)	指導導	事項		(2)	言語活	動例		(1)	指導導	項		(2)	言語活	動例	
イ 自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的な部分とるように表現を工夫すること。 相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わ	と。 と 、 共 通 点 や 相 違 点 な ど を 踏 ま え て 、 自 分 の 考 え を ま と め る こ と 。	考えをまとめること。 考えをまとめること。	問したり意見などを述べたりする活動。ア 紹介や報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質	イ 互いの考えを伝えるなどして、少人数で話し合う活動。	材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。ア 目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた	して文章の構成や展開を考えること。 ・書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識	に工夫すること。 ウ 根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるよう	を確かめて、文章を整えること。 エ 読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方など	え、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと。オー根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏ま	たりするなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。 ア 本や資料から文章や図表などを引用して説明したり記録し	して書く活動。 して書く活動。	たことを書く活動。たことを書く活動。	どについて叙述を基に捉え、要旨を把握すること。アー文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係な	て、描写を基に捉えること。 て、描写を基に捉えること。	面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈すること。 り 目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場	考えること。 ・ 考えること。 ・ 大・文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして ・ 大・文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして	ものにすること。 ものにすること。	報告したり文章にまとめたりする活動。	ったりする活動。	どを報告したり資料にまとめたりする活動。ウ 学校図書館などを利用し、多様な情報を得て、考えたことな	その他
						0						*				0	0		*		
															0				*		
						0	0					*									
0			*		0					*											
<u> </u>			4				0						0					4	*		
			^				9						9				9	^			
	(1) イ 自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的な部分と	(1) イ 自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的な部分と	す 話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて オ 話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて オ 話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて オ 話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて	(2) 15 ア 紹介や報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質 と。	(1) イ 互いの考えを伝えるなどして、少人数で話し合う活動。 注:	(1)	(1) イ 書く内容の中心が明確になるように、民落の役割などを意識 ◎ ◎ ◎ ★ 1 目分の考えや根拠が明確になるように、民常の本式を超して質問したり意見などを踏まえて、自分の考えをまとめること。 **	# ウ 根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるよう (1) イ 書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識	書	A	A	(1)	A	本	(1) イ 場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについ	1	(1) 指摘	A	A	A	A